

## 「大学生のためのお金の教室～損切りした方が良いでしょうか？」

ファイナンシャル・プランナー 江尻 正幸

昨年は大変お世話になりました。本年も謹んで宜しくお願ひ申し上げます。  
さて、2012年最初のコラムは、投資に関してよく戴く相談事例について考えてみます。

新たに年を迎えるにあたり、様々な目標を立てた方も多くいらっしゃるでしょう。  
大学生の皆さんは、将来に備えて資産運用を始めることをその一つとしたかもしれません。  
そういった方は、今回のコラムを参考にして、自分である程度判断できる個人投資家を目指していきましょう。

### 【質問】

2011年12月末現在、保有している投資信託が含み損を抱えています。  
損切りした方が良いでしょうか？（小川さん 20歳 大学2年生）

### 【回答】

まず、確認したい点があります。  
それは、小川さんがどういう目的で投資を始めたかということです。  
相場の変動などによって含み損を抱えてしまうと、これを見失ってしまうことがあるので  
忘れないようにしましょう。

#### ●短期的な売買を目的とするケース

例えば、小川さんが短期的な売買で利益を得ようと考えて、この投資信託を購入した場合  
を考えてみましょう。

この場合、その投資信託が投資している先や、今後の経済情勢などの分析を小川さんなり  
に行い、その値が回復するかを見極めます。

各省庁や証券会社などのHPに、様々な指標や分析が掲載されていますので、それを元に  
小川さん自身が保有している投資信託の今後の値動きについて考えをまとめると良いでしょう。

そして、「〇〇円になったら売る！」、「今後も値は下がり続けるだろうから、今のうちに売却  
してしまおう・・・。」というように、自分自身で判断を下すようにしましょう。

#### ●長期保有を目的とするケース

一方、長期保有を目的として、この投資信託を購入した場合についても考えてみましょう。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

この場合、「いつまでいかに殖やしたいのか」を思い出します。そこまで深く考えていなかったならば、この機会に考えてみましょう。

長期的に投資を行う場合、保有している投資信託の値が下がる局面に 何度もぶつかるかもしれません。ですから、「いつまでいかにする」という最終的なゴールを設定しておくことはとても重要と言えます。

そうすれば、今回のように下落しても、慌てること必要はありません。その投資先は今後伸びる、つまり自分の設定したゴールに導いてくれるのだろうか、といったことをじっくり調べ、考え、判断を下しましょう。

情報はあらゆるところから得ることが可能ですが、以下にその収集先の例をいくつか挙げておきます。

宜しければ、小川さんの判断の材料にしてみてください。

日本銀行	短観や企業物価指数など、重要な資料・統計が掲載される。
内閣府	景気動向指数、景気ウォッチャー調査などが掲載される。
EDINET	一部の企業の有価証券報告書等を閲覧できる。
モーニングスター	投資信託を中心とし、資産運用に役立つ情報がまとめられている。

(筆者作成)

もちろん、収入と支出のバランスを見直すことも忘れないようにしましょう。支出が収入を上回り、貯金がどんどん無くなる・ローンに頼らざるを得なくなるといった家計状況にあるならば、投資について吟味する前に、預貯金ができるようなお金の使い方を考えた方が賢明です。

投資は自己責任と良く言われますが、正にその通りです。投資の目的が、短期的な売買か長期保有かに関わらず、自分で情報を分析し、判断を下す必要があることを、ここまでお読み下さったことで感じて頂けると幸いです。

世の中には、投資に関する情報があふれています。しかし、最終的に国・企業に投資するものは、小川さん自身が稼いだお金です。また、先程も申し上げた「ゴール」は人それぞれ異なります。

ですから、まだ大学生でいる間に、じっくり自分自身で調べ、時にはFPなどに相談しながら、投資を経験することが、小川さん自身の成長にも寄与することでしょう。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.